

凡事徹底・活力・環境

五小だより

<http://5s.hyama.andteacher.io>

令和 6年 10月 31日

No.8

東大和市立第五小学校

TEL (042)562-1981

FAX (042)590-7022

校長 平松 新太郎

## 感謝の気持ちで食べましょう

『感謝の気持ちで食べましょう』、これは五小の11月の給食目標です。感謝の仕方はいろいろあると思いますが、今回は、食べる時の挨拶から、改めて考えます。

### 「いただきます」

いただくは、漢字で頂く・戴くと書き、頭の上に捧げ持つことを意味します。これは、古くから、何か大切なものをもらった時に、「ありがとう」という感謝の気持ちを表す動作として使われてきました。

食べ物は、もともと動物や米・野菜などの植物です。「いただきます」という言葉には、食事ができること、すべての命に対して、「ありがとう」という意味もあります。

### 「ごちそうさまでした」

ごちそうは、漢字でご馳走と書きます。「馳走」は「かけまわる」という意味があります。古くから私たちは、人をもてなすために汗を流して食べ物を集め、かけまわるように食事の準備をしました。食事にかかわる多くの人たちに対して、「ごちそうさまでした」という挨拶で感謝の気持ちを伝えてきました。

実際、私たちが食べる給食には、生産者の方々、それらを販売するお店の方々、必要な物を運搬するの方々、栄養士の方々、調理員の方々、お家の方々他、多くの方々がかかわっています。

世界に目を向けると、8人に1人が飢えていると言われています。何日も食べるものがなく困っている子供たちがたくさんいます。病気にかかりやすくなり、軽い病気でも命をおとしてしまうことがあるそうです。

一方、日本では、1日平均、おにぎり1個から2個分、小学校高学年の児童の栄養量に換算すると、毎日1千万人分もの食べ物を捨てているそうです。

給食は、すべての児童に食べる機会が用意されています。そして、給食を含めて、私たちの食事は、多くの人々がかかわり、多くの命をいただくことで成り立っています。

私は、食事は残さずすべていただくことと日頃から意識しています。

『感謝の気持ちで食べましょう』、ご家庭でも、『給食』や『食べること』について、改めて考える機会を設けていただければ幸いです。